

## 名阪近鉄バス株式会社

経験豊富な指導員が、しっかりサポートしてくれます。上手くいかない時など、アドバイスがあり、気軽に相談もできます。単独乗務1年後、フォローアップ研修を実施、冬季研修（雪道・チェーン装着等）、必要なスキルや知識を身につけていただきます。

### ・教習担当

業務部 指導教育課 令和7年4月1日現在

課長 勤続24年、指導歴12年

指導員A 勤続31年、指導歴11年

指導員B 勤続24年、指導歴5年

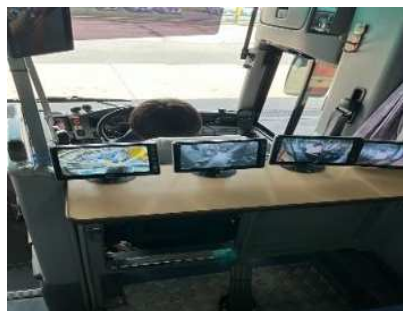
指導員C 勤続17年、指導歴7年

指導員D 勤続17年、指導歴4年

教習車両は、実際の現場で活躍しているバスと同じタイプの教習車で研修を行っています

### ・教習車両

貸切車両1台（大型）



乗合車両2台（大型・中型）



名阪近鉄バスの教習計画は、養成運転士、初任運転者からベテラン運転士まで、個々の技量に合わせた研修プログラムにより実施しています。以下は、研修プログラムの内容です。

1. 事業用自動車を運転する心構え
  - ・バス運転者の社会的使命、また、事故を起こした場合の影響などを認識し、安全運行を心がけることは、模範となる運転者の使命である。  
(社員就業規則・乗務員安全サービス規則・乗務員マニュアル)
2. 事業用自動車の運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべき基本事項
  - ・法令としては、「道路運送法」「旅客自動車運送事業運輸規則」等の遵守。
  - ・日常点検の実施・確認、業務前後の点呼を受ける等の規定の遵守。  
(乗務員マニュアル)
3. 事業用自動車の構造上の特性
  - ・バスの特性に合わせた運転。(車高・車幅・車長・速度・死角等)
  - ・車両の大きさ、構造などが多様化するバス車両の特性に合わせた運転が必要。  
(乗務員マニュアル)
4. 危険予測及び回避並びに緊急時における対処方法
  - ・「危険予測」様々な危険性を予測することが重要で、それを回避する運転をしていく必要性。
  - ・交通事故や路上故障が発生した場合は、「負傷者の救護・危険防止措置・乗客の安全確保・警察へ報告・営業所へ連絡等」即座に行動できるよう指導。
5. 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
  - ・適性診断結果に基づき、運転者に自己の運転行動の特性を自覚させる。(初任：入社時、適齢：65歳以上毎年、一般：3年毎、特定診断Ⅰ・Ⅱ：重大事故惹起者)
  - ・適性診断結果より運転者が安全な運転方法を自ら考えるよう指導
  - ・5段階の運転教習 1. 基本走行 2. 市街地走行 3. 高速走行 4. 山道走行 5. 総合走行 (実技マニュアル)
6. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法の指導
  - ・事故に繋がる要因は何かを理解させ、運転にどのような影響を与えるのかを認識させる。
  - ・労働時間などの時間の改善基準の厳守。  
(乗務員マニュアル)
7. 健康管理の重要性
  - ・疾病が交通事故の要因となること、健康診断受診の必要性、健康管理方法など
  - ・睡眠時無呼吸症候群、脳ドック、ストレスチェック等の受診の必要性。
  - ・(乗務員マニュアル)

8. 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法・備える車両装置の動作確認。
  - ・車両に搭載された運転支援装置の性能と注意事項を確認。  
(乗務員マニュアル)
9. 乗車中の旅客の安全を確保するために留意する事項
  - ・乗客が着座、シートベルト着用確認の重要性。
  - ・乗客とのコミュニケーションから様々な場面での対応方法まで指導します。  
(CS マニュアル)
10. 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
  - ・乗客の乗降時における、停車・ドア開閉・乗客誘導・発車等を安全に行うための配慮すること。
  - ・高齢者・障害者の乗降時の安全の確保。実技指導（リフトバス・車いす）  
(乗務員マニュアル)
11. 運行する経路における道路及び交通状況を把握させ、留意すべき事項
  - ・安全運行を行うため、運行経路・経路の道路情報を事前に把握する必要性。  
(実技マニュアル)
12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導
  - ・運転後にドライブレコーダーの映像を確認させ、業務手順に沿った運転か・問題点・注意すべき点について指導。
13. ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等を社内で共有
  - ・運転者からヒヤリ・ハットの申告を積極的に促し、関係する映像を確認、対応を考え、社内で共有。
14. 事業用自動車の添乗指導
  - ・貸切・乗合、運転者が安全運転に必要な技量を身につけたことが確認できるまで指導後、配属所属長と確認。

以上

# 教 習 計 画

教習生	氏名		指導員	勤続31年	指導歴11年	A
				勤続24年	指導歴5年	B
車種	貸切大型車 貸切中型車	勤続17年		指導歴7年	C	
	乗合大型車 乗合中型車	勤続17年		指導歴4年	D	

座学教習 10時間 以上	・ 事業用自動車の安全な運行に関する基本事項
	・ 運行の安全及び旅客の安全確保
	・ 事業用自動車の構造上の特性と日常点検
	・ 危険の予測及び回避
	・ 緊急時、異常気象時の対処方法
	・ 人間の特性の理解（視野・交通心理）
	・ ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
	・ 適性診断結果に対する個人指導
	・ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
	・ 市街地及び高速道路走行に対する注意点
・ 狭路、山道走行に対する注意点	

実技訓練 20時間 以上	基本操作、走行訓練（金城ふ頭周回）
	市街地走行訓練（名古屋市内指定コース）
	郊外1車線、坂道（上り、下り）走行訓練（緑区周回コース）
	高速道路走行訓練
	狭路走行訓練（常滑市、師崎方面）
	山間路走行訓練（三ヶ根、妻籠、鈴鹿峠）
	夜間走行訓練（郡上八幡方面）
	梯団走行訓練（天理、妻籠）
	イオンシャトル中型車両走行訓練

実技研修の時間は技量により延長します  
名阪近鉄バス株式会社 業務部指導教育課

# 教習プログラム

教習生		指導員	勤続31年	指導歴11年	A
			勤続24年	指導歴5年	B
勤続17年	指導歴7年		C		
勤続17年	指導歴4年		D		
	車種	貸切大型車 貸切中型車			
		乗合大型車 乗合中型車			

行	程	項 目	日付	修了担当⑩
---	---	-----	----	-------

卓 上 研 修	1日目 (8時間)	・入社する際の書類の作成、写真、制服採寸		
		・教習の概ねの予定、休日について、指導教育課の電話番号 施設説明		
		・乗務員マニュアル（就業規則・服務規律）		
		・座学教習（事業用自動車の安全運転の基本・運行の安全及び旅客の安全確保）		
	2日目 (8時間)	・貸与品を渡す ・乗務員台帳作成（免許証・個人指導記録簿・その他）		
		・座学教習（構造上の特性と日常点検の方法・緊急時における対処方法）		
		・座学教習（ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正について）		
		・座学教習（安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法について）		
		・出勤からの流れ（点呼簿・出勤簿） 実践兼ねて		
		・名（営）設置のアルコール検知器の使用方法和、アルコール検査確認について		
	3日目 (3時間)	・CSマニュアル(前半)について（接客・身だしなみ・その他）		
		・アルコールについて（飲酒運転防止のための留意点）		
・日常点検について（運行前点検手順・点検表作成）				
・指示書 ・ぬくもり運転申告書について（確認事項・記入方法）				
・デジタルタコグラフの入力方法について				
・非常扉の開閉方法・エンジンオイル・冷却水補充の仕方について				

運 転 教 習	1 段 階	車庫内	・運行前点検を確実に実施（点検項目・手順・オーディオDVD装置取扱い）について		
			・安全確認呼称の必要性について 【実技マニュアル参照】		
			・始業点呼について（運行前点検・ぬくもり申告書提出・運行指示書の復唱）		
		基本走行	・車両感覚、発進、停止操作 右左折等基本操作（金城ふ頭周回）		
			・仕業中の点検（仕業中の点検・点検表の作成）、輪止の使用法について		
			・終業点呼について（異常有無の報告事項）		
	座学教習 (2時間)	・適性診断 初任診断受診			
		・適性診断結果に基づく個人指導の実施			
		・運行立替報告書の記入事項について、安全運転日報の解析について			
	2 段 階	市街地走行	・市街地にての注意点の説明 【実技マニュアル参照】		
			・市街地走行(中川区、港区周回)右左折時の確認方法、道路状況の把握と安全速度		
		郊外走行	・1車線道路(大高コース)での右左折と坂道発進訓練		
走行試験		・市街地・郊外走行試験（試験項目 運行前点検 ・走行試験 ・非常扉開閉）			
座学教習 (2時間)		・危険の予測及び回避(KYT(危険予知トレーニング)についての指導			
		・ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正について			

行 程		項 目	日付	修了担当◎
運 転 教 習	3 段階	座学(1時間)	・高速走行にての注意点の説明 【実技マニュアル参照】	
		高速走行	・高速道路走行訓練1 (名古屋高速、名環)追い越し無し 合流地点の協調運転	
			・高速道路走行訓練2 (新東名、新名神、伊勢湾岸等)追い越し無し、SA進入駐車	
			・高速道路走行訓練3 適正車間距離の確保、安全な追い越し、等速運転	
			・山間部高速走行訓練4 (中央道、東海北陸道)等速運転、適正ギアでの走行	
	4 段階	座学(1時間)	・狭路走行にての注意点の説明 【実技マニュアル参照】	
		狭路走行	【南知多・常滑方面をプログラムに基づく走行訓練】	
		座学(1時間)	・山道走行にての注意点を説明 【実技マニュアル参照】	
		山道走行	【幡豆、三河、鈴鹿峠、方面をプログラムに基づく走行訓練】	
		走行試験	・狭路、山道 走行試験 ドライブレコーダー映像を使った指導	
		座学(1時間)	・車両準備の練習 車両点検から準備まで一連の流れ 車掌業務 接客業務	
	5 段階	総合走行	・運行コース制定のルート確認の仕方について (経路図の作成)	
			・先進安全装置(略称ASV)について (各装置の確認と操作方法)	
			・発進アイドルアップ・ESスタート・車間クルーズ・モニターシステム等	
			・衝突被害軽減ブレーキ ・ドライバーモニター	
			【各営業所まわり 大垣・若森・四日市 高速または一般道路を利用して走行訓練】	
			【配車を想定した最終走行訓練】	
			・梯団走行訓練 【実技マニュアル参照】	
		・夜間走行訓練 【実技マニュアル参照】		
		検定試験	・車種別別 中型車両実技研修(貸切中型車両・イオンシャトル車両)	
	・総合検定 走行試験 試験項目 ( 運行前点検 ・挨拶 ・有蓋車庫後退 ・走行 ・終業点検 )			
	総合判定試験	・総合判定 (名古屋高速・名古屋市内) 走行試験 ・所長 ・教官 ・管理者(営)立会		
		試験項目 ( 運行前点検 ・挨拶 ・有蓋車庫後退 ・走行 ・終業点検 )		
座学教習 (4時間)	・CSマニュアル(後半)について			
	・場面別CSマニュアル ・ガイドとの協調 ・運行の法令などについて			
卓 上 研 修	・過労運転防止のための留意点について (労働時間についての規定)			
	・営業所での指示書番号にて添付された運行立替報告書の作成について (有料立替の明記と区分確認)			
	・所属営業所にての仕業の流れ			
	・所属営業所への提出書類の確認 ( 乗務員台帳 ・適性診断表 ・運転免許証票 ・訓練記録簿 )			